

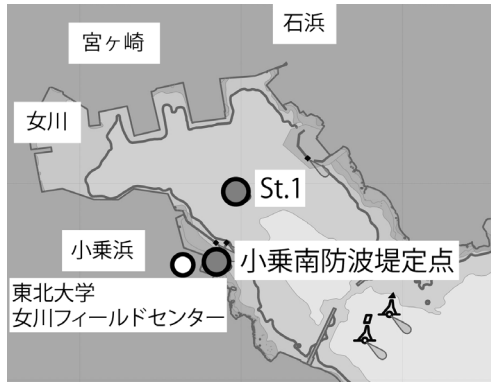
週刊 女川湾海況速報 (No.62)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

9 月 30 日から 10 月 4 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は全層で下降。塩分は表層（0m）で上昇したが、底層（6m）ではやや下降。経時的に水温は全層で下降傾向にあり、鉛直的には 2 日に水温逆転が生じた。塩分については全層で 2 日まで下降し、特に 2 日に顕著な下降。全体的な水温の下降と 2 日の水温逆転は気温の低下の影響、2 日の顕著な塩分下降は降水の影響と推定。

水深 [m]	9月30日 (月)	10月1日 (火)	10月2日 (水)	10月3日 (木)	10月4日 (金)
0	21.7 (33.1)	21.5 (33.0)	21.2 (32.3)	21.2 (33.1)	20.8 (33.1)
6	21.3 (33.4)	21.3 (33.2)	21.3 (32.6)	21.2 (33.2)	20.8 (33.2)

水温の単位は℃。\*2 日と 4 日は 5m を使用。

②濁度：先週と比較して表層で下降したが、底層では上昇。経時的には全層で 1 日に上昇したが、2 日には下降。以降はそれ以前と同程度か、それよりも低い値（0.9～1.8FTU）で推移。（単位は FTU）

水深 [m]	9月30日 (月)	10月1日 (火)	10月2日 (水)	10月3日 (木)	10月4日 (金)
0	1.0	2.0	1.0	1.0	0.9
6	4.3	6.9	1.5	1.8	1.4

③溶存酸素：先週と比較して表層で下降したが、底層では上昇し、5～7mg/l 台を示した。経時的には全層で 2 日まで上昇し、それ以降は下降。特に 2 日の上昇が顕著で、全層で 7mg/l 台を示した。

水深 [m]	9月30日 (月)	10月1日 (火)	10月2日 (水)	10月3日 (木)	10月4日 (金)
0	6.2	6.5	7.4	6.6	6.1
6	5.5	6.6	7.3	6.7	6.3

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 20.9～21.5℃、32.2～33.4 の範囲にあり、水深 5m と 10m の間では水温逆転が生じた。濁度は 1.2～6.2FTU の範囲にあり、水深 15m で最大。溶存酸素は 6.0～7.9mg/l の範囲にあり、底層（19m）で最小。先週と比較して底層の酸素飽和度が上昇し、82%まで回復した。

10月2日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	21.2	32.2	4.3	7.4
5	21.2	32.5	1.4	7.9
10	21.5	33.1	1.2	7.7
15	21.3	33.3	6.2	6.9
19	20.9	33.4	3.7	6.0

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。